



content

1. 動物愛護フェスティバルを開催しました

しっぽの森卒業犬猫特集

2. 卒業犬の同窓会を開催しました

3. 新しい家族を迎えて(犬編)

4. 新しい家族を迎えて(猫編)

令和6年9月28日(土) 動物愛護フェスティバルを開催

今年はセンター開設5周年記念セレモニーと公洲森林公園秋祭りとの同日開催で、天候にも恵まれ、例年の倍以上となる1,436名の方にご参加いただきました。参加者には、高松市移動図書館で動物に関する本を読んだり、トリミング教室で犬のブラッシングを体験したり、ボランティア譲渡会やセンター犬猫のお披露目会で動物を見学するなどしていただき、イベントを通じて、動物愛護の重要性やセンターの活動を広く知ってもらうよい機会となりました。また、秋祭りとのコラボイベントのスタンプラリーで、お子さんたちが公園内を楽しみながら散策する様子や、センター犬のお披露目で、犬たちが見学者の前を頑張って歩く姿をほほえましく見てもらえたことが印象的でした。



04 新しい家族を迎えて(猫編)①

Q 猫との暮らしの中で得たもの、苦労したことはありますか。

A 得たものは癒し、安心感、マヨを介した(マヨが介してくれた?)年頃の子どもたちとの交流です。お陰で子どもたちとの会話や関わりが増えました。苦労は特には無いです。たまに粗相があったりもしますが、「寂しかったのかな」と関わりを見直すきっかけや思い出にもなります。

Q 譲渡を受けた猫との日常や、印象的なエピソードがあれば教えてください。

A 側に付かず離れず、干渉もし過ぎず、それでいて気を遣いながら過ごすことが自然になっています。冬に布団の中で暖かくして一緒にゴロゴロしているとき、安心した寝顔を見ているときはなんだか幸せです。

Q しっぽの森から猫の譲渡を受けることを考えている方に、メッセージをお願いします。

A 初めは動物を飼うことに対してあまり深く考えなかったのですが、しっぽの森で講習を受けたり、展示されている飼い方やお世話の仕方の資料を見たりするうちに、可愛いだけではなく、費用面や管理について責任を負わないと、継続的に飼うことは難しいということがわかりました。迷われている方は一度講習を受けられることをお勧めします!

しっぽの森から
成猫(マヨちゃん)を迎えられた
H様のお話を伺いました。



04 新しい家族を迎えて(猫編)②

Q しっぽの森から猫の譲渡を受けようと思った理由を教えてください。

A 幼少期に保護猫をずっと飼っていたこともあり、家を建てたらいつかは保護猫を迎えたいと考えていました。猫達がマイクロチップの装着や出来る検査などを終えていること、情報もサイト上で確認が出来ることなどからしっぽの森から譲り受ける事にしました。

Q 子猫を迎えるにあたり、不安だったこと、また、実際に苦労したことはありましたか。

A 共働きのため、帰宅するまでは家でひとりにさせてしまう時間があることが気がかりで、カーテンに引っ掛かるなどいたづらをされるのが不安でした。実際はカーテンに登ることはありませんでしたが、ブラインドの紐で遊んだり、充電器のコードやイヤホンコードを噛んでしまうことがあり、出しっ放しにしたりしないように気をつけるのが大変でした。

Q しっぽの森から猫の譲渡を受けることを考えている方に、メッセージをお願いします。

A 小さな保護猫だったアリスは、今ではなくてはならない大切な家族になりました。しっぽの森の職員の方が手をかけてお世話して下さっているからこそ出会えた縁だと思っています。毎日家族からたくさんかわいがられているアリスのように、しっぽの森にいる猫たちがたくさん「かわいい」を貰える日が来ることを願っています。

しっぽの森から
子猫(アリスちゃん)を迎えられた
K様のお話を伺いました。



follow me



しっぽの森Instagramのご紹介

しっぽの森では、Instagramで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでくつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。



しっぽの森 卒業犬猫特集

今回は卒業犬猫特集として、卒業犬の同窓会と、しっぽの森の犬猫を家族として迎えてくれた方のお話をご紹介します。

02 卒業犬の同窓会を開催しました

令和6年5月19日(日)・12月1日(日)
⑤ 香川総合運動公園



しっぽの森の譲渡後のアフターフォロー事業のひとつとして、しっぽの森や、香川県総合運動公園で卒業犬の同窓会を開催し、多数のご家族に参加いただきました。
保護犬ならではの共通するお悩みなどについて、飼い主さん同士で情報共有していました。

しっぽの森を卒業し、家族の一員として幸せに暮らしている現在の姿を見られて、スタッフ一同とても嬉しかったです。

令和6年9月28日(土)⑥ しっぽの森



センター所長 薦田

みんな
よう来てくれたな～
元気そうで
良かったわ!

03 新しい家族を迎えて(犬編)①

Q しっぽの森から犬の譲渡を受けようと思ったきっかけを教えてください。

A 先住犬もしっぽの森から迎えたので、次の子もしっぽの森からと決めていました。ホームページで最初に見たチャイは、まだ子犬だったのですぐ譲渡されるだろうと思っていたのですが、成犬になってもホームページに載っていました。ずっと気になっており、飼えるかどうか迷っていたのですが、覚悟を決めしっぽの森に電話をしました。

Q 先住犬は、すぐに新しく来た犬との同居に慣れましたか。

A 先住犬はとても気の優しい、ちょっと気弱な男の子なので、最初はチャイの遊ぼうという誘いを無視したり、嫌そうにしたりしていました。徐々にチャイを受け入れる様子が見られるようになり、今では付かず離れず良い距離感で過ごしているように思います。

Q しっぽの森から犬の譲渡を受けることを考えている方に、メッセージをお願いします。

A 犬を飼うのが初めてでなければ、成犬にも目を向けて欲しいと思います。性格も分かり、自分のライフスタイルに合う犬を見つけやすいと思います。子犬から一生懸命育てた子もとてもかわいいですが、大きくなってから来たチャイが少しずつ慣れてくれるのも、また違う喜びがあります。皆さんに合う子がきっと待っていると思います。

しっぽの森から
「チャイ」を迎えられたT様の
お話を伺いました。



03 新しい家族を迎えて(犬編)②

Q 譲渡を受けた犬に決めた理由は何ですか。

A ホームページの写真でこの子がいいなと思っていましたが、しっぽの森で初めて会った時、写真以上のかわいさで、職員さんに甘えるしぐさにノックアウトされました。ホルスタインのような柄も個性的で、決め手の一つになりました。

Q 犬を飼い始めて困ったこと、大変だったことはありますか。特に子犬ならではの苦労はありましたか。

A 子犬の頃は甘噛みに困らされ、なかなかうまくしつけられず2歳になった今も直っていない感じです。また、散歩が嫌いなので、外に連れ出すのに苦労しています。それとこれは嬉しいことでもあるのですが、生活が犬中心になっていて、外出しても「早く帰らないと!」と思ってしまいます。

Q しっぽの森から犬の譲渡を受けることを考えている方に、メッセージをお願いします。

A しっぽの森にいるワンちゃん、ネコちゃんは、職員さんの愛情をいっぱい受けたかわいい子ばかりです。譲渡後も、「しつけ方教室」、「卒業犬同窓会」などで譲渡犬の飼い主さんと交流する機会があり、よく参加させていただいています。他の飼い主のみなさんと交流できる時間はとても楽しく貴重なものです。しっぽの森からやって来た我が家のたんじろうは、家族を繋ぐ宝物になっています。

しっぽの森から
「たんじろう」を迎えられたN様の
お話を伺いました。

